

「2029年二酸化炭素ゼロ目標を視野に一刻も早く野心的な削減の実行を」に関する陳情

〔願意〕

船橋市内において遅くとも2029年までには二酸化炭素ゼロ目標を視野に最大限野心的な削減を早急に実施にうつしてください。

〔理由〕

気温上昇は産業革命以後すでに1.2℃を超えており、世界の死守すべき気温上昇1.5℃へ向かって急上昇している。このままでは2030年前後に1.5℃に到達しそうな勢いである。現在1.2℃でもすでに災害は激しく、日本では台風が凶暴化し、豪雨・洪水はかつて経験したことがないレベルを繰り返している。世界では大干ばつによる飢饉、山火事、洪水、熱波、そしてグリーンランドに続き南極氷河の融解がはじまり、海面上昇が加速しそうだ。

1.5℃を超えた世界で果たして我々は生きてゆけるのであろうか？

二酸化炭素の削減は遅々として進まない。1.5℃を守るためのカーボンバジェットは2020年初めの世界で400ギガトン、これを日本の人口比に換算すれば6.6ギガトン、日本は毎年1.1ギガトンぐらいを排出しているから2020年から数えて6年、今から数えてあと4年分しかないことになる。であれば、あと8年すなわち2029年にはゼロに持ってゆかねばならない。そうしないと1.5℃を超えるのである。1か月遅れるたびに1か月期限が近くなる厳しさである。1年何

もしなければ 2028 年が期限になる。

どこの国もどこの自治体も今直ぐ始めても 2029 年までにはゼロカーボン達成しなければならない。それをしないのであれば、2030 年代に生きる人々に「生きるな！」と宣告するに等しい。

今決断でき実行できる我々の義務と責任は無限に重い。

今すぐ目標を定め今すぐ実行に移していただきたい。

昨年の陳情からすでに半年が過ぎ、船橋では時間だけがすぎた感があります。危機はさらに大きくなりました。今すぐ、できることからまずは初めていただきたい。